



第5回学校運営協議会を開催しました!

2月27日(木)に行われた第5回学校運営協議会のご報告をします。まず、委員の皆さんには、5時間目の授業を見ていただきました。

その後、今年度の学校評価に関わる活動についての成果と課題について学校から説明いたしました。あわせて、保健主事からは、子ども達の健康や体力づくりの取組に



授業参観の様子



会議の様子

ついて、人権教育担当

からは、今年度の人権の花の取組やキラリカードの取組などについて、専科担当からは子ども達の授業の様子について説明いたしました。

その後、委員さんに学校評価をしていただきました。主なご意見は、下記の通りです。

- ◎学校は、様々な取組を、しっかり行っている。子ども達は、明るく、元気に、のびのびと育っている。楽しそうな姿が多く見られる。
- 「基礎学力」と「思考力」は、学力の両輪である。子ども達が、算数のおもしろさに気付く、「おもしろい」と思わせる学びをしてほしい。
- わからないことが「わからない」と言えるのも、協働的な学びの姿である。
- 読書活動の推進は、学校だけでは限界がある。家庭での読書習慣が反映されている。読書以外の楽しみが多く、親も忙しく我が子とゆったりと向き合う時間がない。市立図書館はよく整備されていて、良い本がたくさんあるので活用してほしい。
- ◎キラリカードや百人一首の取組は今後も継続してほしい。
- 地域の人にあいさつができていない。自分から進んであいさつができる子になってほしい。
- ◎代表委員会は自分の意見を反映させる良い機会。委員会活動も工夫次第で社会参加への第1歩となる。
- ◎学校は、体力作りによく取り組んでいる。9~12歳が、一番運動能力が身につく時期なので、いろいろなスポーツに触れ、スポーツの楽しさを知ってほしい。
- 子ども達は、メディアの他の遊びや遊び方を知らない。
- ◎ストレッチは、寒い時期に室内でもでき、運動が苦手な子にも取り組みやすいので習慣になると良い。
- ◎学校は、地域とつながり家庭と連携しながら、「ふるさとを愛する子」を育てようとしている。学校からの情報発信も良い。家庭や学校以外の人との関わることで、大人になってもふるさとを誇れる人になってほしい。

◎成果 ●課題

これらのご意見をもとに、来年度の重点取り組みを決定していきたいと思ひます。委員の皆様、1年間ありがとうございました。

